

令和5年9月15日

中学校3年生生徒の保護者の皆様

苫小牧市立明倫中学校長 池田 健人

令和5年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

秋涼の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年4月18日（火）に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が本年7月に北海道教育委員会から公表され、苫小牧市でも8月に公表されました。

本調査は、学習指導要領の定着状況の把握、すなわち生徒が学習内容をどの程度理解しているかを把握することとともに、調査結果の分析から生徒への指導の充実や学習状況の改善等を図ることを目的としています。苫小牧市は、市全体の平均正答数及び平均正答率を公表することとしておりますが、各学校の平均正答数及び平均正答率の公表については、本調査の目的と整合が図られないこと、学校の序列化を回避することが困難であることなどの理由から、行っておりません。

これを踏まえて、本校の結果と考察をまとめましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 調査の概要

(1) 実施日

令和5年4月18日（火）

(2) 調査対象

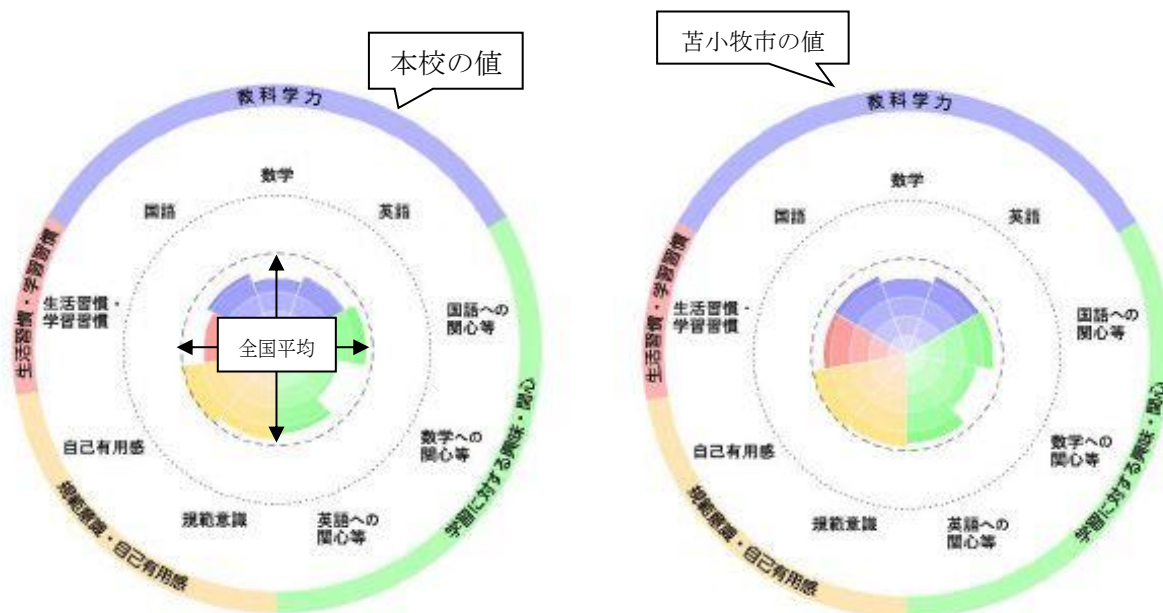
中学校第3学年

(3) 調査内容等

- ① 教科に関する調査は、国語、数学、英語の3教科が出題されました。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の他に「話すこと」に関する問題が出題されました。
- ② 生活習慣、学習環境等に関する生徒質問紙調査が実施されました。
- ③ 学校に対して、指導方法や教育条件の整備等に関する質問紙調査が実施されました。

2 本校の結果と考察

(1) 全国平均と本校の比較



(2) 国語科

- ・国語においては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・国語の正答数の分布では、全国平均に比べ、中位層が薄く、下位層が厚い傾向が見られる。
- ・「文脈に即して漢字を正しく書くこと」設問において、平均正答率が全国平均を大きく下回っており、今後の学習での強化が必要である。
- ・「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」設問において、無回答率が高く、平均正答率も全国平均を下回っている。

(3) 数学科

- ・数学においては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・数学の正答数の分布では、全国平均に比べ、中位層が薄く、下位層が厚い傾向が見られる。
- ・「目的に応じて式を変形する、その意味を読み取る、事柄が成り立つ理由を説明する」設問において、平均正答率が全国平均を大きく下回っており、今後の学習での強化が必要である。
- ・「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する」設問において、無回答率が高く、平均正答率も全国平均を下回っている。

(4) 英語科

- ・英語においては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・英語の正答数の分布では、全国平均に比べ、中位層が薄く、下位層が厚い傾向が見られる。
- ・「情報を正確に聞き取ること」設問において、平均正答率が全国平均を大きく下回っており、今後の学習での強化が必要である。
- ・「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くこと」設問において、無回答率が高く、平均正答率も全国平均を下回っている。

(5) 生徒質問紙

学校生活

- ・「将来の夢や目標を持っていますか」「学校に行くのは楽しい」の両項目において、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合が全国平均を上回っている。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」の項目において、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合が100%となっており、全国平均を上回っている。
- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」の項目において「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合が全国平均と同等となっている。
- ・「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立ちますか」の項目において「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合が全国平均と同等となっている。

家庭生活

- ・「友達関係に満足している」の項目において、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合が全国平均を上回っている。
- ・「学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっているか」の項目において、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合が全国平均を若干上回っている。

3 学校の今後の取組について

- ・国語科においては漢字の学習を強化するとともに、自分の考えを適切な文章に表現する力を向上させる必要があるため、学習指導の中で取り入れていく。
- ・数学科においては式の変形及び成り立ちについて深く理解がすすんでいないことが直近の課題であるため、学習指導の中で取り入れ、授業を展開していく。
- ・英語科においてはリスニング力の強化が必要不可欠と思われるため、授業展開に取り入れ、リスニング力向上を図る。
- ・生徒質問紙の回答ではおおむね良好な人間関係と望ましい進路を思い描いている生徒が多い。